

⑧特許公報

⑨公告 昭和45年(1970)11月2日

発明の数 1

(全3頁)

1

⑩カールセット用捲毛用具

⑪特 願 昭42-35534

⑫出 願 昭42(1967)6月5日

⑬発明者 出願人に同じ

⑭出願人 三ツ元平八

東京都品川区西大井4の1-3の
20

代理人 弁理士 竹沢莊一 外1名

図面の簡単な説明

図は本発明の実施例を示すもので、第1図は吸湿材充填用囊部を球状とした場合の平面図、第2図は第1図におけるX-X線拡大縦断面図、第3図は吸湿材充填用囊部を棒状とした場合の平面図、第4図はそのY-Y線拡大縦断面図、第5、6図はそれぞれ使用状態を例示する側面図および斜視図である。

発明の詳細な説明

この発明は、構造著しく簡単で、製作容易であるとともに、極めて簡単かつ手軽に、頭髪を効果的に乾燥させることができ、しかも頭髪を、容易には型くずれしないようにカールセットすることができる新規なカールセット用捲毛用具に関するものである。

しかし、本発明の特徴とするところは、適宜の間隔をもつて、多数の突出部を形成してなる可撓性にして、しかも通気性を有する材料よりなる平板状表皮を重合することにより、ベース板における突出部と表皮との間に形成される囊室内へ、湿気が帯びると変色する吸湿材を充填した上で、ベース板と表皮の少くとも周縁部同士を互いに適宜接着して、吸湿材を囊室内へ保持しつつベース板もしくは表皮のすくなくとも一方を透明体としたことにある。

以下本発明を、実施例図に基いて、詳細に説明する。

第1、2図において、1は、可撓性はあるが通

2

気性に乏しい材料、例えばプラスチックスフィルムもしくは防水性紙等よりなるベース板で、その表面には、上方に突出する半球状突部5多數を、適宜の間隔を設けて、縦横に配設形成してある。

2は和紙、薄い織布等の通気性材よりなる表皮で、和紙の場合は、できるだけ腰の強いものを使用するのが望ましい。なおベース板1を表皮2と同様の材料をもつて形成することもある。

上記のベース板1の下面に、図示のように、表皮2を貼着すると、ベース板1の半球状突部5の内側に囊室3が形成される。

吸湿材4としては、例えばシリカゲルの粉末を使用する。この際、シリカゲルの粉末中に、湿気を帯びると変色するものとして、例えば塩化第15コバルト(帶湿により青変する)の粉末を適量混ぜておく。

なおベース板1と表皮2との全接触面、あるいは両者の少くとも周縁部同士を、熱接着、もしくは接着剤等により接着して、吸湿材4が囊室3より脱落しないようにする。

上述した本発明のカールセット用捲毛用具は、熱気と騒音で不快な思いをする従来の電動電熱式のドライヤを冠する必要なしに、きわめて手軽に髪の毛を乾燥すると同時に、カールセットすること25ができる。

すなわち、洗髪して未乾燥の頭髪を、所望の髪型にするべくカールした状態で表皮2に当接して、所要の時間適宜押さえつけておくと、頭髪に付着している水分は、一旦通気性の表皮2に浸透した後、20囊室3の中の吸湿材4により効果的に吸収され、頭髪は、カールして押さえられている状態のままで次第に乾燥し、遂には捲きぐせがつけられて、所望の髪型にカールセットされるのである。

しかし本発明のカールセット用捲毛用具を使35用すれば、一つの髪型だけではなく、例えばロールカール、或はピンカール或はウェーブ型等々、いろいろのカールセットを行うことができる。

すなわち、ロールセットする場合には、第5図

示のようすに、頭髪6を伸ばして、これを本用具における表皮2側に当て、本用具を、表皮2が内側になるよう端から巻いてゆき、この巻いたものを、例えばゴムバンド等で締め付けて、もとに戻らないようにしておく。

こうしておくと、頭髪6は、巻曲している本用具の表皮2と、ベース板1との間に挿圧された状態で巻曲されるので、頭髪6中の水分は効果的に表皮2に浸透し、吸湿材4により吸収されて、本用具の巻回度に応じた巻きぐせがつけられ、容易に所望のロールセットを施すことができる。

ピンカールセットしたい場合には、例えば、第1図中の仮線部分から切断して、第6図のごとき小片を作成し、この小片の表皮2へ、渦巻き状に捲いた頭髪6を当て、これを、適宜の押え体、例えばクリップ7等で表皮2へ押えておくことにより、容易にピンカールセットを施すことができる。

また、頭髪を単にウエーブ型にセットしたい場合には、本用具を所要の長さに切断したものを2枚用意し、両者の表皮2間で、髪の毛を挿着し、両者を一体的に適宜波曲させて保持すればよい。

さらに、頭髪の根本にのみカールを付したい場合には、毛先を適宜巻き込み、毛の根本の所望の都合にのみ、本発明品を彎曲させて当てがい、乾燥させればよい。

上述したように、本発明品はいろいろの髪型のカールセット用に利用できて便利であるが、さらに製作が容易であるという顕著な利点がある。

すなわち、プレス加工等により、ベース板1へ、叢室用突出部5を形成し、この突出部5を下側としてベース板1を置き、その突出部5の内面における凹み部の中へ、適宜充填材をもつて、吸湿材4を充填してから、予かじめ糊ロール等により貼着面に接着剤を塗布した表皮2を、圧着ロール等でベース板1の片面へ貼り合わせることにより、

本発明品を流れ作業で連続してつくることができ、能率的な量産を可能ならしめることができる。ある。

なお、第3図及び第4図は、本発明の他の実施例を示すもので、この場合には、ベース板1に、半球状突起に代つて、断面半円状の棒状突起5多数を、所要の間隔をもつて幅方向に列設してなり、それ以外の点は、第1実施例のものと同様である。

このようにすると、第1実施例のものに比して、10より製作が容易となるとともに、第5図のよう巻回する際に便利であり、しかも同一面積に対する吸湿材4の量を、第1実施例の場合よりも大とすることができるという利点がある。また、ベース板と表皮の両方もしくはいずれか一方を透明体15とし、かつ吸湿材は、湿気を帯びると変色するものとしてあるので、吸湿材の変色具合を外部から視認して、髪の毛の水分の吸湿状態、つまり髪の毛の乾き具合を外部から容易に判断できる利点もある。

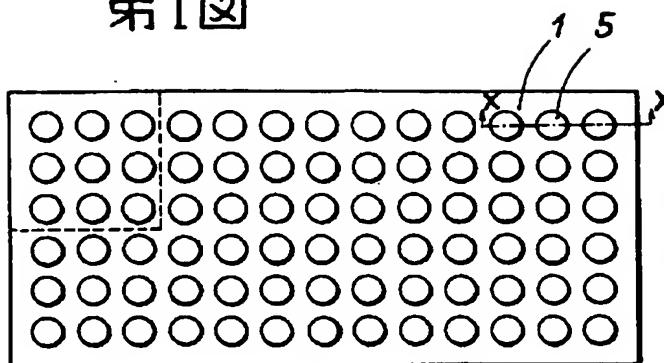
20 特許請求の範囲

1 適宜の間隔をもつて、多数の突出部を形成してなる可撓性ベース板に、同じく可撓性にして、しかも通気性を有する材料よりなる平板状表皮を重合することにより、ベース板における突出部と25表皮との間に形成される叢室内へ、湿気を帯びると変色する吸湿材を充填した上で、ベース板と表皮の少くとも周縁部同士を互いに適宜接着して、吸湿材を叢室内へ保持しつつ、ベース板もしくは表皮のすくなくともいずれか一方を透明体とした30ことを特徴とするカールセット用捲毛用具。

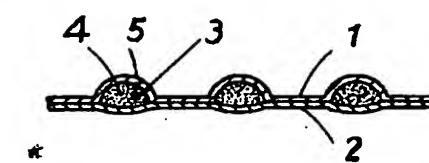
引用文献

実 公 昭37-8230

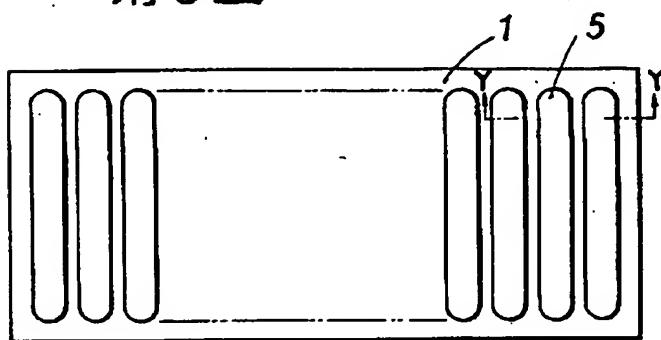
第1図



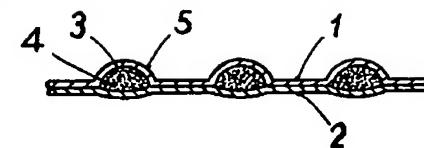
第2図



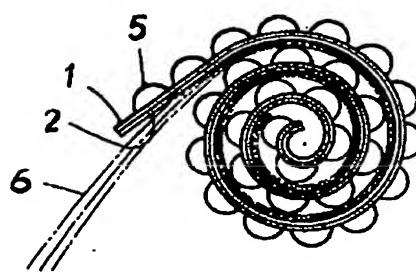
第3図



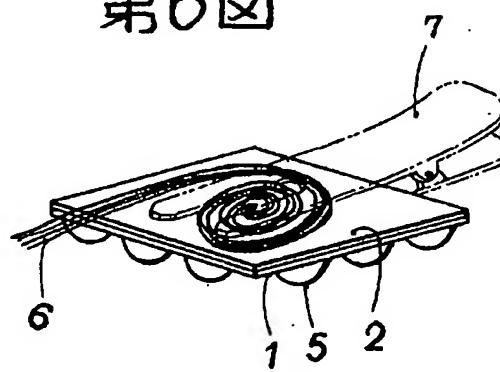
第4図



第5図



第6図



THIS PAGE BLANK (USPTO)